

守 監 発 第 6 号  
令和4年8月17日

守谷市長 松 丸 修 久 様

守谷市監査委員 高 瀬 尚 則 

守谷市監査委員 高 梨 恭 子 

令和3年度守谷市各会計決算及び  
各基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定により審査に付された令和3年度における守谷市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに同法第241条第5項の規定により審査に付された各基金の運用状況について審査したので、次のとおり審査意見書を提出する。

# 令和3年度守谷市各会計決算及び各基金運用状況審査意見書

## 1 審査の対象

守谷市一般会計歳入歳出決算

守谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

守谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

守谷市介護保険特別会計歳入歳出決算

守谷市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算

守谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

各基金の運用状況を示す書類

## 2 審査の期間

令和4年7月29日から令和4年8月17日まで

## 3 審査の方法

守谷市各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成され、これらの計数の正確性とその会計処理が適正に行われているかを関係書類と照合するとともに、関係職員から説明を聴取し、定期監査、例月現金出納検査等の結果を参考として、収入支出事務の適法性、的確性の確認を行い、予算が適正かつ効率的に執行されたかを審査した。

また、各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

## 4 審査の結果

審査に付された守谷市一般会計歳入歳出決算書、守谷市各特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して調製されており、その計数は、関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、予算の執行に関連する事務の処理は適正かつ効率的に執行されていると認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても関係諸帳簿、証拠書類と符合しており、基金の運用状況は妥当であると認められた。

## 5 審査の意見（各会計の状況）

### 【一般会計】

歳入決算額は 345 億 6,807 万 6,451 円で、前年度と比較して 38 億 2,050 万 7,335 円（10.0%）の減額となった（令和 2 年度と令和元年度の比較：135 億 2,334 万 5,761 円の増額、54.4%の増）。

歳出決算額は 315 億 7,531 万 777 円で、前年度と比較して 41 億 8,277 万 9,628 円（11.7%）の減額となった（令和 2 年度と令和元年度の比較：132 億 6,329 万 4,305 円の増額、59.0%の増）。

決算の状況は、前年度と比較して歳入歳出とも減額となっている。

歳入の状況としては、前年度と比較してふるさとづくり寄附金の増額などが挙げられる。

なお、歳入における財源の構成比は、自主財源が 56.1%（前年度：50.3%）、依存財源が 43.9%（前年度：49.7%）という状況である。

歳出の状況としては、前年度と比較して民生費、衛生費、土木費及び教育費が増額となっており、主な理由として、民生費では子育て世代臨時特別給付金及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金、衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種委託料及びコールセンター業務委託料、土木費では都市計画道路用地買収補償事業、教育費では、給食センター改築事業、郷州小学校の校舎改築工事及び黒内小学校の校舎増築工事が挙げられる。

また、歳出における目的別の構成比が増加となった主なものは、民生費が前年度 28.9%に対して 34.4%、教育費が前年度 15.5%に対して 18.9%となっている。

次に、特別会計を合わせた普通会計における財政分析指標については、財政力指数（単年度）が 0.949（前年度：0.997）、経常収支比率が 85.0%（前年度：91.2%）、公債費負担比率が 6.2%（前年度：6.3%）となっている。

### 【国民健康保険特別会計】

歳入決算額は 54 億 7,160 万 4,073 円で、前年度と比較して 2 億 3,697 万 9,069 円（4.5%）の増額となった（令和 2 年度と令和元年度の比較：3 億 8,148 万 8,223 円の減額、6.8%の減）。

歳入の主なものは、国民健康保険税と県補助金であり、国民健康保険税は前年度と比較してわずかに減額となっているが、県補助金は増額となっている。

歳出決算額は 53 億 9,236 万 2,765 円で、前年度と比較して 2 億 6,766 万 7,834 円（5.2%）の増額となった（令和 2 年度と令和元年度の比較：4 億 1,370 万 6,415 円の減額、7.5%の減）。

歳出の状況としては、昨年度と比較して保険給付費が増額している。これは前々年度（令和元年度）に比べ、コロナによる病院等への受診控えの傾向が徐々

に回復してきたことが要因として挙げられる。

また、一般会計からの法定外繰入も行われず、国民健康保険支払準備基金の取り崩しもない。

### 【後期高齢者医療特別会計】

歳入決算額は7億4,493万4,749円で、前年度と比較して2,818万40円(3.9%)の増額となった(令和2年度と令和元年度の比較:1億366万360円の増額、16.9%の増)。

歳出決算額は7億4,185万9,719円で、前年度と比較して2,880万2,072円(4.0%)の増額となった(令和2年度と令和元年度の比較:1億184万663円の増額、16.7%の増)。

令和4年3月末における被保険者数は7,235人(令和3年3月末:6,778人)で、人口に占める割合は10.3%(令和3年3月末:9.7%)となっている。今後も、被保険者数の増加により、規模が拡大していくことが予想される。

### 【介護保険特別会計】

歳入決算額は39億1,320万9,030円で、前年度と比較して1億8,682万7,587円(5.0%)の増額となった(令和2年度と令和元年度の比較:1億9,722万7,141円の増額、5.6%の増)。

歳出決算額は37億5,414万3,531円で、前年度と比較して2億358万2,324円(5.7%)の増額となった(令和2年度と令和元年度の比較:1億6,130万5,962円の増額、4.8%の増)。

歳出における保険給付費は32億367万4,925円で、歳出総額の85.3%を占めている(令和2年度:30億9,539万6,720円(歳出総額の87.2%)、令和元年度:30億6,979万6,112円(歳出総額の90.6%))。

守谷市の高齢化率(65歳以上人口)は、各年4月1日現在、令和2年が22.6%、令和3年が23.1%、令和4年が23.5%である(令和4年:茨城県30.5%、全国29.0%)。

また、守谷市の要介護認定率は、各年4月1日現在、令和2年が12.25%、令和3年が12.35%、令和4年が12.57%である(令和4年4月:茨城県15.6%、全国18.9%)。

高齢化率、要介護認定率とも年々増加しているものの、茨城県や全国と比較して、守谷市は高齢化率及び要介護認定率とも低い水準となっている。

### 【介護サービス事業特別会計】

歳入決算額は10万円で、前年度と比較して159万812円(-94.1%)の減額となった(令和2年度と令和元年度の比較:1,592万4,833円の減額、90.4%の減)。

歳出決算額は10万円で、前年度と比較して149万812円(-93.7%)の減額となった(令和2年度と令和元年度の比較:1,443万8,632円の減額、90.1%の減)。

また、歳入歳出ともに、前年度の繰越金及び一般会計への繰出金のみであった。

令和2年度から地域包括支援センターの業務を委託したことから、予防給付に係るケアマネジメント業務も併せて委託しており、過年度分の精算が終了する令和3年度をもって、当該特別会計は廃止となった。

### **【農業集落排水事業特別会計】**

歳入決算額は4,044万84円で、前年度と比較して736万1,922円(-15.4%)の減額となった(令和2年度と令和元年度の比較:103万425円の減額、2.1%の減)。

歳出決算額は3,627万9,556円で、前年度と比較して758万2,171円(-17.3%)の減額となった(令和2年度と令和元年度との比較:239万5,787円の減額、5.2%の減)。

令和4年3月末における施設の使用戸数は194戸(令和3年3月末:191戸、令和2年3月末:190戸)となっている。

### **【基金運用状況】**

各種基金については、適正に管理・運用されている。